

一般財団法人 医療関連サービス振興会
第256回 月例セミナー

平成30年度医療関連サービス実態調査から読み取る
「医療関連サービス事業の課題と将来の展望」

令和元年6月19日（水）

講 師：慶應義塾大学 名誉教授
高木 安雄 氏

<講師ご略歴>

高木 安雄

慶應義塾大学 名誉教授

■略歴

- 1973年 千葉大学 教育学部 卒業
- 1973年 (株)社会保険研究所入社、「社会保険旬報」編集部勤務、厚生省専門誌記者クラブ所属
- 1990年 特殊法人・社会保障研究所入所、
調査部研究員、同主任研究員(1991年)、調査部長(1993年)
- 1996年 仙台白百合女子大学 人間学部 人間生活学科 教授
- 2000年 日本福祉大学 経済学部 経営開発学科 教授
- 2001年 九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座 教授
- 2005年 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授
- 2016年 慶應義塾大学 名誉教授

■受賞経歴

- 1987年 第一回吉村賞(吉村記念厚生政策研究助成基金)受賞

■主な著書

- 『医者と患者の経済学』1983年、勁草書房
- 『社会保障の財源政策』(共著)1993年、東大出版会
- 『医療保障と医療費』(共著)1995年、東大出版会等
- 『高齢者ケアをどうするか：先進国の悩みと日本の選択』(監訳)2002年、中央法規出版
- 『保健医療サービス 新社会福祉士養成講座』2009年、中央法規出版
- 『「医療保障・医療制度の社会学」『社会学事典』』2011年、丸善出版

■関連学会

日本医療・病院管理学会、医療経済学会

■専門分野

医療保障論、医療政策論、医療経営論、高齢者ケア論

平成30年度医療関連サービス実態調査から読み取る

「医療関連サービス事業の 課題と将来の展望」

令和元年6月19日
慶應義塾大学
名誉教授 高木 安雄

<本講演の構成・内容>

- I 医療関連サービスマーク制度の目的・対象業務と
認定数の推移
- II 医療関連サービス実態調査の病院・事業者の
調査対象(平成30年度)
- III 「病院」の実態調査結果から
 - ・医療関連サービスの「ライフサイクル」
 - ・医療関連サービスの「総合満足度」
 - ・医療関連サービスマークに加えるべき業種
 - ・「オンライン診療」の周知状況
- IV 「事業者」の実態調査結果から
 - ・サービス業種間の「収支状況」
 - ・サービス事業拡大・縮小の予定
 - ・「医療関連サービスマーク制度」の対象としてほしいサービス
- V おわりに — これからの医療関連サービス

I(1) 医療関連サービスマーク制度の目的と根拠規定

- 医療関連サービスマーク制度は、医療関連サービスに関して、医療の特質や国民の生命・身体への影響を踏まえ、一定の認定要件を定め、この要件に適合する良質の医療関連サービスに対して交付するものです。
- 医療法第15条の3第1項第一号では、検体検査の業務を委託するときは、臨床検査技師等に関する法律第20条の3第1項の登録を受けた衛生検査所の開設者に委託しなければならないと規定しており、また、医療法第15条の3第2項では、医療機関が医師等の診療などに著しい影響を与えるものとして政令で定めるものを委託するときは、厚生労働省令で定める基準に適合するものに委託しなければならないと規定しています。

3

I(2) 医療関連サービスマーク制度の対象業務

- | | |
|-------------------------------|------------|
| ① 在宅酸素療法における
酸素供給装置の保守点検業務 | 平成 3年 9月発足 |
| ② 院外滅菌消毒業務 | 平成 3年11月発足 |
| ③ 寝具類洗濯業務 | 平成 4年 1月発足 |
| ④ 患者等給食業務 | 平成 5年 2月発足 |
| ⑤ 患者搬送業務 | 平成 5年 3月発足 |
| ⑥ 院内清掃業務 | 平成 5年 9月発足 |
| ⑦ 衛生検査所業務 | 平成 5年 9月発足 |
| ⑧ 医療用ガス供給設備の保守点検業務 | 平成 6年 5月発足 |
| ⑨ 医療機器の保守点検業務 | 平成 8年10月発足 |
| ⑩ 院内滅菌消毒業務 | 平成18年 6月発足 |

4

I (3) 医療関連サービスマーク認定数の推移

(単位：件)

区 分	3年度	6年度	9年度	12年度	15年度	18年度	21年度	24年度	27年度	30年度
在 宅 酸 素	75	153	200	227	231	227	226	230	218	200
院外滅菌消毒業務	13	29	31	36	42	48	48	51	50	51
寝具類洗濯業務		207	222	224	218	224	227	246	249	251
患者等給食業務		100	110	120	147	151	172	182	183	175
患者搬送業務		8	7	8	7	7	5	5	3	3
院内清掃業務		556	785	971	1,199	1,352	1,367	1,466	1,487	1,465
衛生検査所業務		293	331	270	256	162	148	145	131	122
医療用ガス		97	169	198	208	238	254	252	259	254
医療機器			9	4	2	3	3	3	4	4
院内滅菌消毒業務							25	32	39	35
合 計	88	1,443	1,864	2,058	2,310	2,412	2,475	2,612	2,623	2,560

各年度の認定数（各年度2月1日付認定数）

5

II 調査対象 ①病院

◇開設主体 × 病床規模数

*構成比(%)

	n数	20～49床	50～99床	100～199床	200～299床	300～499床	500床以上	無回答
全体	1006	9.9	25.8	31.7	11.3	12.1	7.2	1.9
国	40	0.0	7.5	10.0	15.0	27.5	40.0	0.0
公立	181	3.9	20.4	24.9	9.4	23.2	18.2	0.0
その他公的	62	3.2	4.8	37.1	16.1	33.9	4.8	0.0
医療法人	605	13.4	31.1	35.0	12.2	6.4	1.8	0.0
個人	21	33.3	42.9	14.3	4.8	4.8	0.0	0.0
その他私的	77	3.9	24.7	41.6	7.8	10.4	11.7	0.0
無回答	20	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.0

6

Ⅱ 調査対象 ②事業者

【業種別の事業者数】（複数回答）

*数値は実数

	実施 事業者数	医療関連サービスマーク 取得状況		無回答
		取得	未取得	
①検体検査	47	37	5	5
②滅菌消毒	26	22	0	4
③患者等給食	83	73	0	10
④患者搬送	16	3	11	2
⑤医療機器保守点検	24	8	12	4
⑥医療用ガス供給設備保守点検	93	82	3	8
⑦寝具類洗濯	113	92	6	15
⑧院内清掃	224	203	0	21
⑨医療廃棄物処理	23			
⑩医療事務	9			
⑪院内情報コンピュータ・システム	31			
⑫医療情報サービス	4			
⑬院内物品管理	11			
⑭医業経営コンサルティング	14			
⑮在宅酸素供給装置保守点検	53	49	1	3
⑯在宅医療サポート	3			

注）複数のサービスを実施している事業者があるため、有効回収数とは異なる（総数は有効回収数を上回る）

7

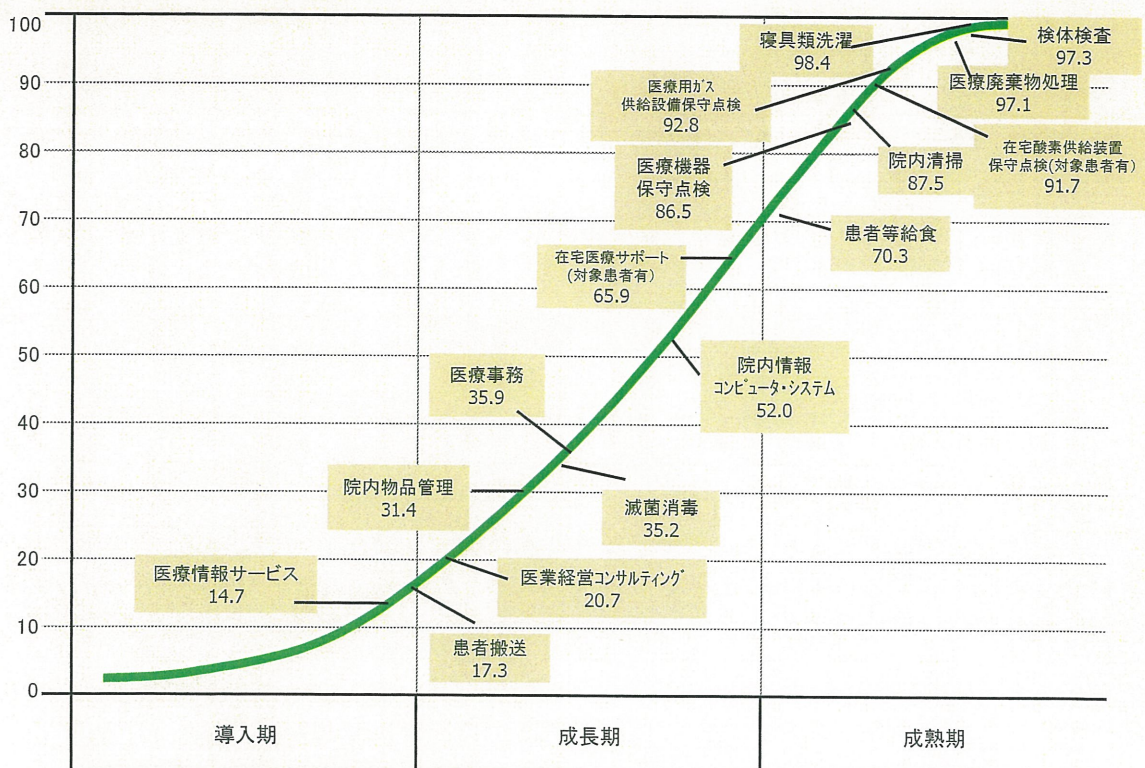
Ⅲ 「病院」の実態調査結果から

- ・ 医療関連サービスの「ライフサイクル」
- ・ 医療関連サービスの「総合満足度」
- ・ 医療関連サービスに加えるべき業種
- ・ 「オンライン診療」の周知状況 など

8

図表① 委託率からみた医療関連サービスのライフサイクル

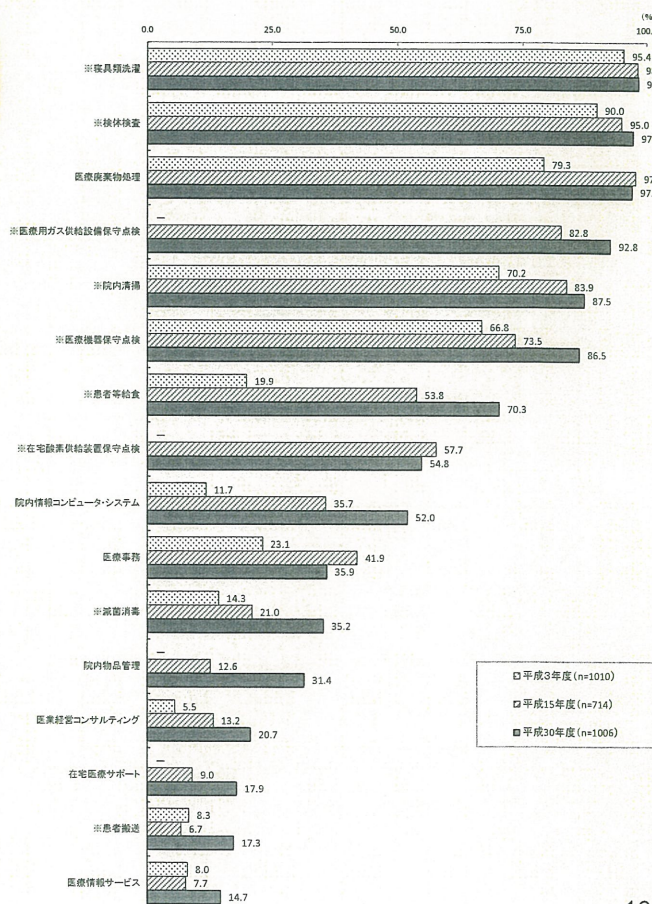
(%) ※数値は各業種の委託率(病院調査結果)



注)「在宅酸素供給装置保守点検」「在宅医療サポート」は【対象患者有】回答病院に限定した数値。

9

図表② 医療関連サービス委託率の推移(抜粋)



10

図表③ 属性別にみた各種医療関連サービスの委託率(%)

*網掛けは各業種・属性区分の中で最も高い層であることを示す。

	n	⑦寝具類 洗濯※	⑧検体検 査※	⑨医療廃 棄物処理	⑩医療用 ガス供給 設備保守 点検※	⑪院内清 掃※	⑫医療機 器保守点 検※	⑬患者等 給食※	⑭在宅酸 素供給装 置保守点 検※
全 体	1006	98.4	97.3	97.1	92.8	87.5	86.5	70.3	54.8
病 床 数	20～49床	100	97.0	95.0	96.0	85.0	80.0	60.0	51.0
	50～99床	260	98.1	98.5	98.1	95.0	83.5	87.7	61.2
	100～199 床	319	100.0	97.5	97.8	93.7	87.1	86.2	66.5
	200～299 床	114	98.2	97.4	94.7	87.7	88.6	84.2	72.8
	300～499 床	122	97.5	95.9	97.5	97.5	89.3	79.5	60.7
	500 床以上	72	97.2	98.6	95.8	97.2	98.6	88.9	84.7

	n	①院内情 報コン ピュー タ・シス テム	②医療事 務	③減菌消 毒※	④院内物 品管理	⑤医療経 営コンサル ティング	⑥在宅医 療サポー ト	⑦患者搬 送※	⑧医療情 報サービ ス
全 体	1006	52.0	35.9	35.2	31.4	20.7	17.9	17.3	14.7
病 床 数	20～49床	100	42.0	21.0	33.0	8.0	25.0	11.0	14.0
	50～99床	260	45.0	18.5	23.5	16.5	21.2	13.8	17.7
	100～199 床	319	47.6	27.9	28.2	27.9	16.9	20.1	16.9
	200～299 床	114	53.5	37.7	25.4	32.5	14.9	8.8	13.2
	300～499 床	122	67.2	74.6	62.3	61.5	24.6	26.2	19.7
	500 床以上	72	86.1	88.9	81.9	84.7	31.9	36.1	23.6

注)各属性の「無回答(不明)」病院は表示していない。

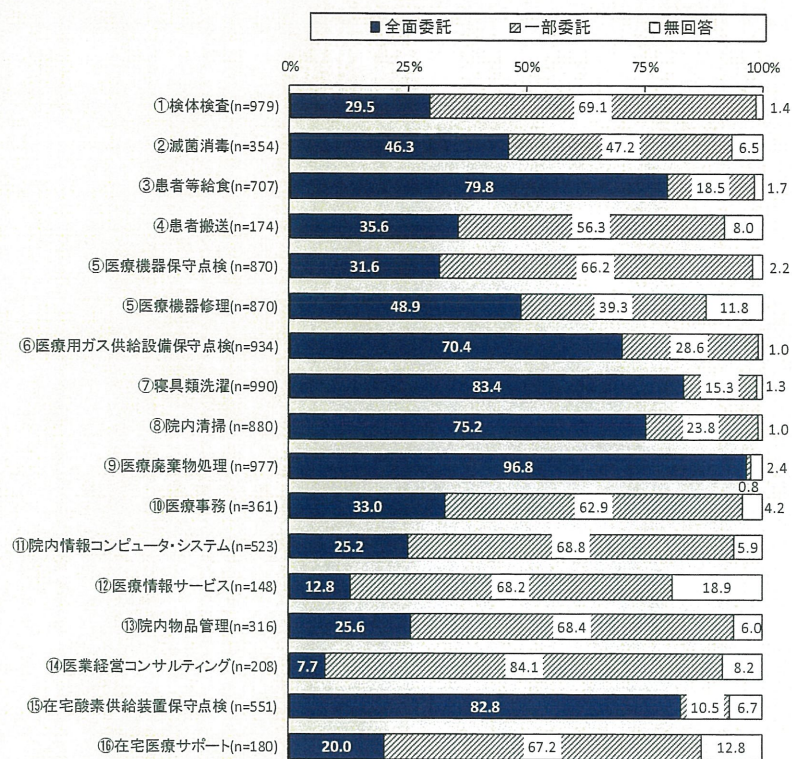
11

図表④ 平均利用サービスの種類数(過去の調査との比較)～全体～

	平成 9年度	平成 12年度	平成 15年度	平成 18年度	平成 21年度	平成 24年度	平成 27年度	平成 30年度 今回調査
全 体	7.2	7.3	7.9	8.0	7.8	8.1	8.5	9.1
病 床 数	20～49床	6.4	6.3	7.2	7.3	7.1	7.3	7.4
	50～99床	6.6	6.7	7.6	7.8	7.8	7.6	8.0
	100～199 床	7.3	7.4	8.0	7.9	7.6	8.0	8.1
	200～299 床	7.1	8.0	7.6	8.2	7.5	7.8	8.2
	300～499 床	7.8	8.4	8.8	8.6	8.3	9.3	10.1
	500 床以上	9.0	9.8	10.1	11.0	10.9	10.8	11.4

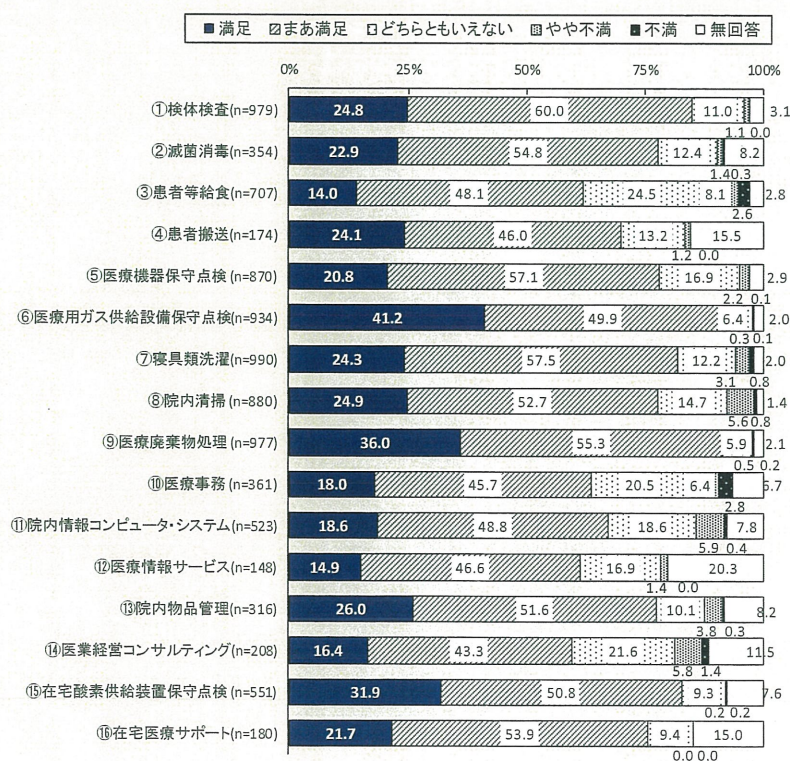
12

図表⑤ 全面委託、一部委託の別



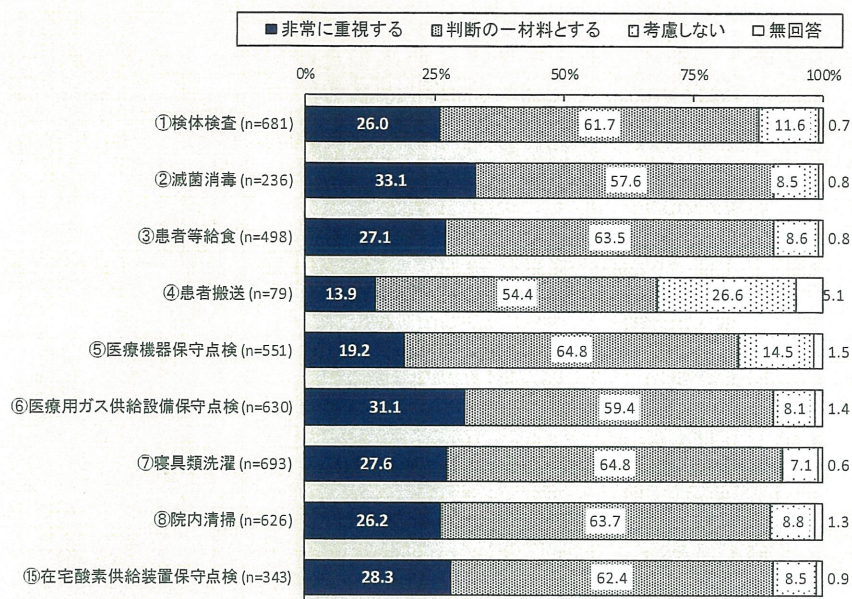
13

図表⑥ 医療関連サービスへの満足度



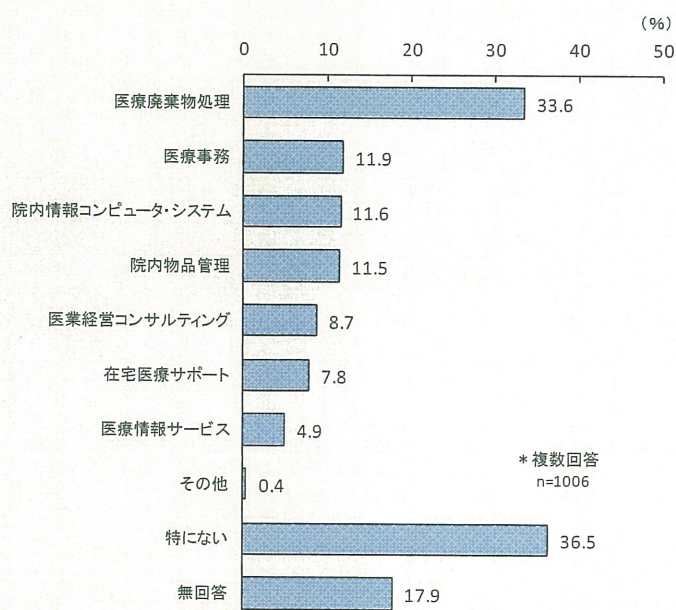
14

図表⑦ 委託決定に際してのサービスマーク有無の考慮



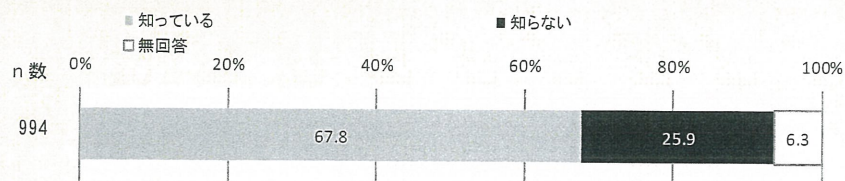
15

図表⑧ 今後医療関連サービスマークに加えるべき業種～全体結果～

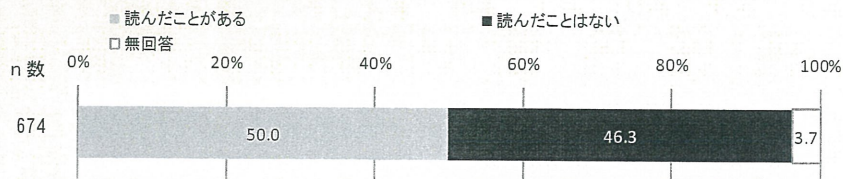


16

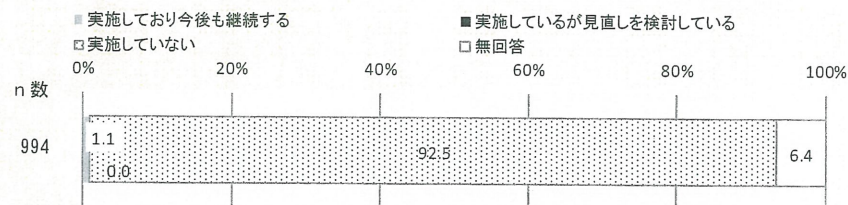
図表⑨ 厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針（平成30年3月）」の認知～全体結果（％）



図表⑩ 厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針（平成30年3月）」の内容認知～「指針」認知者（％）



図表⑪ オンライン診療の実施状況～全体結果（％）



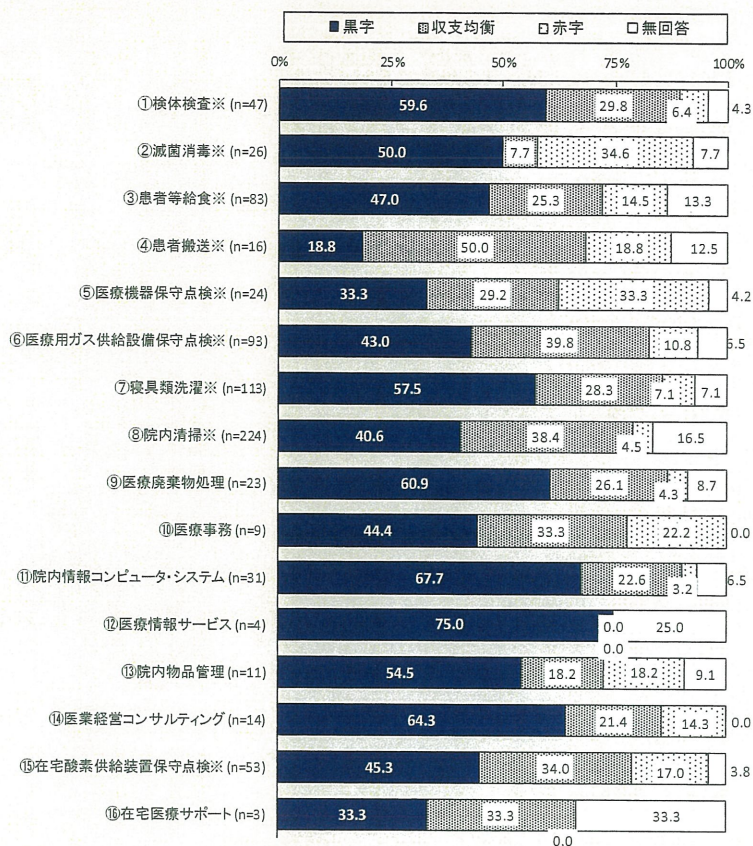
17

Ⅳ ①「事業者」の実態調査結果から

- ・医療関連サービス各業種の「収支状況」
- ・医療関連サービスの「事業拡大・縮小の予定」
- ・医療関連サービスマーク制度の対象としてほしいサービス
など

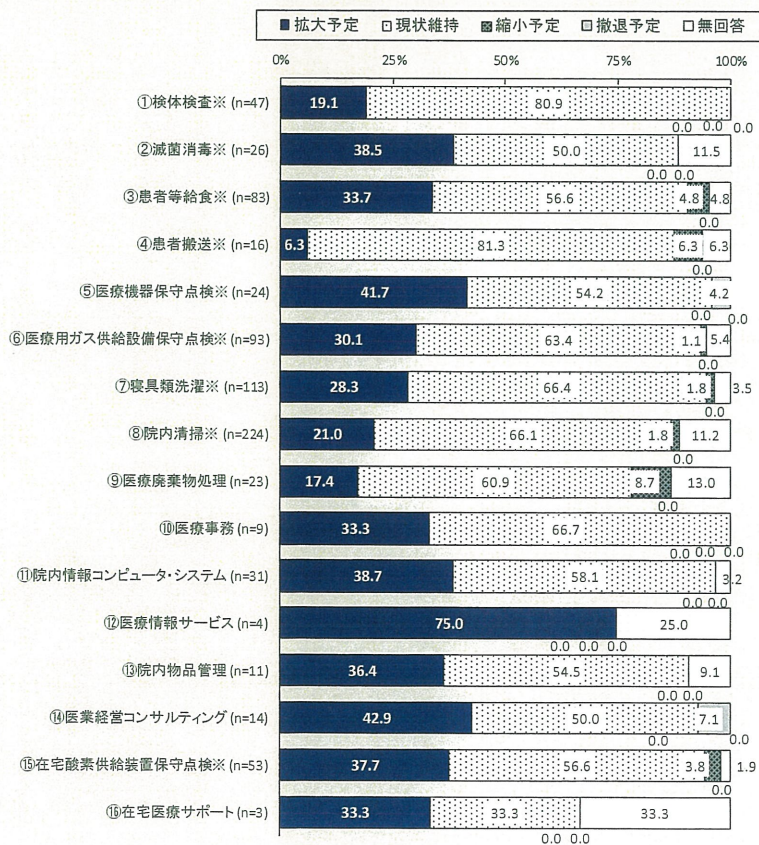
18

図表⑫ 昨年度の収支状況業種間比較



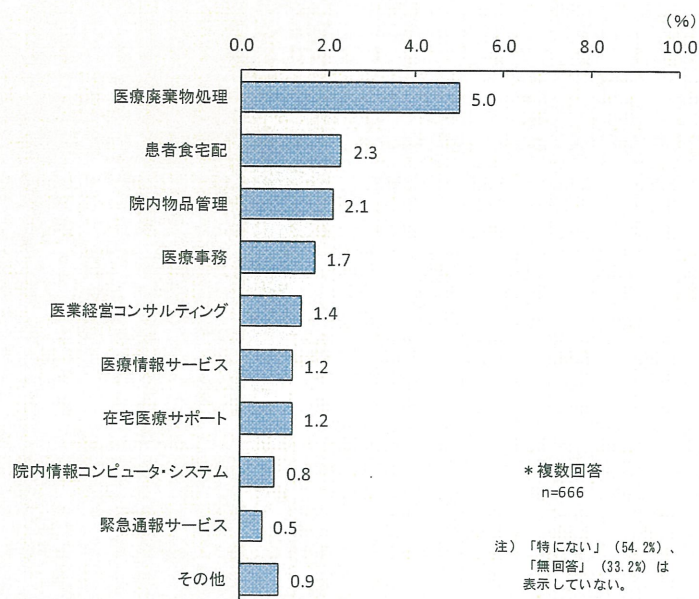
19

図表⑬ サービスの事業拡大・縮小の予定



20

図表⑭ 新たに医療関連サービスマーク制度の対象としてほしいサービス～全体結果～



21

Ⅳ ②「医療関連サービス事業」ごとの主な特徴

(1) 検体検査

「市場規模」は「現状維持」が前回の59.3%から74.5%と大幅増、「拡大傾向」は前回の16.9%から6.4%と大幅減。日本の医療市場は安定期に。

(2) 滅菌消毒

「参入動機」は「医療関連サービスの市場性」が65.4%と高い。「収支状況」は「黒字」が50.0%、「赤字」34.6%とそれぞれ増加し、二極分化か。

22

(3)患者等給食

「収支状況」は「黒字」47.0%、「収支均衡」25.3%、「赤字」14.5%と黒字事業者が半数に届こうとしている。「受託額の動向」では、病院・診療所からは「横ばい傾向」45.8%なのに、有料老人ホーム、介護施設等からは「増加傾向」が28.9%と高く、市場の変化の予兆が。

(4)医療機器保守点検

「従業員数」は「10人未満」が62.5%を占め、小規模事業者が多い。「収支状況」は「黒字」「赤字」が共に33.3%、「収支均衡」が29.2%と3分割の状況。

23

(5)医療用ガス供給設備保守点検

「従業員数」は「10人未満」が72.0%、「売上高」も「5百万円未満」が29.0%と小規模事業者が多い。

(6)寝具類洗濯

「収支状況」は「黒字」が57.5%で過半数を占め、「今後の事業拡大・縮小予定」は「現状維持」が66.4%と成熟ぶりを示す。しかし、「市場規模動向の見解」では「拡大傾向」15.0%、「現状維持」62.0%、「縮小傾向」が19.5%と縮小予想が上回り、決して安泰ではない。

24



(7)院内清掃

「収支状況」は「黒字」40.6%、「収支均衡」38.4%、「赤字」4.5%と経営は安泰。「サービスの問題点・課題」では、「人材の確保」82.6%、「価格設定」51.3%の2つが突出、人材と価格が経営の基本であることは変わらない。

(8)在宅酸素供給装置保守点検

「収支状況」は「黒字」が45.3%、「赤字」が17.0%。「今後の事業拡大・縮小予定」は「現状維持」56.6%、「拡大予定」37.7%、「縮小予定」4.4%と市場はまだまだ前向きだ。

25



(9)患者搬送

「収支状況」は「黒字」「赤字」が共に18.8%、「収支均衡」が50.0%と三すくみ。「売上の傾向」も「横ばい傾向」50.0%と過半数を占め、前途の灯は見えない。



26

V おわりに: 今後の医療関連サービスを考える

- (1) 医療廃棄物処理はサービスマーク制度への導入希望・期待が大きい、「環境省の主管」の壁が立ちはだかる。
- (2) 院内清掃は事業者数が最も多い医療関連サービスであり、院内感染防止など質の向上の機能アップが求められる。
- (3) 患者等給食は医療関連サービスから介護が加わった医療関連サービスに拡大しており、マーケットの変化に沿う制度運営が求められる。

27

- (4) 患者搬送は事業者の倒産により2件に減少、サービスマーク認定の加えて、事業者の経営支援、育成を考えた取り組みが求められる。医療機器保守点検も4件にとどまり、市場の分析と開発も大切である。
- (5) 今後の新しい医療関連サービスとして、「医師・看護師等の斡旋・紹介業務」「医療事務」など様々なものがあるが、大切なのは医師・看護師の働き方や医療技術の進歩などマーケットの分析と効率化の取り組みである。

28